

平成 29 年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成29年度クリーニング師学科試験問題  
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、  
( ) に記入しなさい。

- 1 ( ) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しのみを行う場合であっても、クリーニング師を置かなければならない。
- 2 ( ) クリーニング師とは、クリーニング師試験に合格した者のことである。
- 3 ( ) クリーニング師は、免許を取得した都道府県以外でもクリーニング師としての業務に就くことができる。
- 4 ( ) クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を生活衛生指導員という。
- 5 ( ) 使用済みおしぼりを回収し、洗たく後さらに付与する営業、いわゆる貸おしぼり業もクリーニング業である。
- 6 ( ) クリーニング業法で、「営業者」とはクリーニング業を営む者（洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡をするを営業とする者を含む。）をいう。
- 7 ( ) クリーニング所営業者は、クリーニング師でなければならない。
- 8 ( ) クリーニング業生活衛生同業組合は、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づき組織された団体である。

問2 次のクリーニング業法に関する記述について、文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 クリーニング業法は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を（ ア. 公共の福祉 イ. 公共の利益 ）に適合させるとともに、（ ア. 利用者 イ. 営業者 ）の利益の擁護を図ることを目的とする。
- 2 「クリーニング業」とは、（ ア. 消毒剤 イ. 溶剤 ）又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は（ ア. 皮革 イ. 化学 ）製品を原型のまま洗たくすることを営業することをいう。
- 3 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、（ ア. 必要に応じて イ. あらかじめ ）、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。

問3 次の文は、クリーニング師免許、研修についての記述である。

文中の（ ）の中に下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

- 1 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、（ ）以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、（ ）以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング業法第12条の規程により免許の取消処分を受けた者は、（ ）以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- 4 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、（ ）以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図る為の研修を受けなければならない。  
また、その後は、（ ）を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。

【語群】

ア. 3日	イ. 5日	ウ. 10日	エ. 1月	オ. 3月
カ. 1年	キ. 3年	ク. 5年		

問4 クリーニング所において、苦情の申出先として店頭に掲示しなければならない事項としてクリーニング業法施規則に記載されているものには○印を、記載されていないものには×印を記入しなさい。

- 1 ( ) クリーニング所の名称
- 2 ( ) クリーニング所の所在地及び電話番号
- 3 ( ) 業務に従事しているクリーニング師の氏名
- 4 ( ) 業務に従事しているクリーニング師の登録番号
- 5 ( ) 最寄りの保健所の名称及び電話番号

問5 次の文は、クリーニング業法中の営業者の衛生措置等に関する記述である。文中の( )に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

- 1 営業者は( )以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならない。
- 2 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び( )をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。
- 3 伝染性の疾病の病原体による汚染の恐れのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は他の洗濯物と( )しておき、これを洗濯するときは、その前に( )すること。

**【語群】**

ア. 乾燥機      イ. 消毒      ウ. 脱水機      エ. 区分      オ. シミ抜き  
カ. 事務所      キ. クリーニング所

採 点

平成29年度クリーニング師学科試験問題  
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、公衆衛生に関する記述である。文中の( )の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

ウインスローの定義によれば、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、( )の予防、個人衛生の原則についての個人教育、疾病の( )と治療のための医療と看護サービスの( )、および地域社会の全ての人に、健康保持のための適切な( )を保証する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、( )を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」

【語 群】

ア. 基本的	イ. 組織化	ウ. 個別化	エ. 災害	オ. 伝染病
カ. 生活水準	キ. 寿命	ク. 罹患	ケ. 家族	コ. 早期診断

問2 次の文章のうち正しいものには○印、誤っているものには×印を( )の中に記入しなさい。

- ( ) 過去にテトラクロロエチレンを使用していたクリーニング工場は、土壌汚染対策法における調査の対象とならない。
- ( ) 洗濯物の処理、受け取り、引き渡しを行う者が伝染病の疾病にかかった場合、業務を停止させられることがある。
- ( ) クリーニング所は、洗たく業の用に供する洗浄施設として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特定施設となり、届出、排水基準の遵守などの義務がある。
- ( ) 浄化槽法でいう浄化槽は、し尿及び雑排水（工場排水、雨水その他の特殊な排水を除く）を処理する設備である。
- ( ) 水道法施行規則では「給水栓における水が、残留塩素で10mg/L以上保持するように塩素消毒をすること。」と定められている。

問3 次のA群の事項に最も関係のあるものをB群から選び線で結びなさい。

A群	B群
メタボリックシンドローム・	・地球温暖化
フロン類	・プリオン
B C G	・大気汚染
B S E	・内臓脂肪
P M 2. 5	・結核

問4 次の文は、「クリーニング所における衛生管理要領」について述べたものである。文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 ランドリー処理の本洗には、（ア．40℃以上 イ．50℃以上 ウ．60℃以上）の温水を使用することが望ましい。
- 2 施設内は、採光・照明を十分にすること。特に、受渡し場、しみ抜き場及び仕上場の作業面照度は、（ア．100Lux以上 イ．200Lux以上 ウ．300Lux以上）であることが望ましい。
- 3 蒸気による消毒とは蒸気がま等を使用し、100度以上の湿熱に（ア．3分以上 イ．5分以上 ウ．10分以上）触れさせることをいう。
- 4 界面活性剤による消毒とは、逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で（ア．30分以上 イ．60分以上 ウ．90分以上）浸すことをいう。

問5 次の文中の（ ）の中に、下記の語群から適正なものを選び、その記号を記入しなさい。

クリーニング業は、人体の（ ）、ほこり等により汚染された衣料等を処理する営業であり、（ ）に汚染されたおそれのある衣料等を洗濯することによる（ ）の危害の発生を防止するため、その取扱い及び処理を（ ）かつ適正に行うことは、営業者の責務である。

【語群】



ア．精神衛生上      イ．公衆衛生上      ウ．飲食物      エ．衛生的  
オ．健康管理      カ．効率的      キ．分泌物      ク．病原微生物

採	点

平成29年度クリーニング師学科試験問題  
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を( )の中に記入しなさい。

- 1 ( ) 洗たく物の点検は品物を預かった時に顧客の前で行い、修理や補修・特別なシミ抜きを行う必要がある場合は、その料金を顧客に示し、了解を得ることが必要である。
- 2 ( ) プリーツ加工とは、布に折り目やヒダをつける加工である。
- 3 ( ) 捺染(なせん)とは、染料を溶かした水の中に、染める物を浸して全体に着色する染め方である。
- 4 ( ) 裏地には、通常3つの機能があり、着心地の改善、形態の安定(保型性)、外観の改善があげられる。
- 5 ( ) カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分が多い方が、洗濯用水として望ましい。
- 6 ( ) 毛皮のクリーニングにはランドリークリーニングが適している。
- 7 ( )  左記の洗濯表示は「塩素系漂白剤の使用はできるが、酸素系漂白剤の使用禁止」を意味する。
- 8 ( )  左記の洗濯表示は「石油系溶剤によるドライクリーニングができる」を意味する。

問2 次の各繊維素材の標準的仕上げ温度について、右表の選択肢の中から正しいものの一つを選びその記号を記入しなさい。

- 1 ポリウレタン ( )
- 2 綿 ( )
- 3 絹 ( )
- 4 ポリエステル ( )
- 5 毛 ( )

[選択肢]

ア. 60~70℃

イ. 120℃以下

ウ. 120~130℃

エ. 130~140℃

オ. 150~160℃

問3 次の文はドライクリーニングについての記述である。文中の（ ）に入る正しい語句を1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 ドライ溶剤に適量の（ ア. ドライソープ イ. 漂白剤 ウ. 酵素剤 ）を添加して洗う方法をチャージシステムという。
- 2 ドライクリーニングは、ランドリーと比較して衣類の形くずれ・収縮・脱色が（ ア. 大きい イ. 小さい ウ. 変わらない ）。
- 3 洗浄により汚れた溶剤を、清浄なドライ溶剤に再生する方法の一つにろ過がある。ろ過は溶剤中の（ ア. 不溶性汚れ イ. 水溶性汚れ ウ. イオン ）を除去する。
- 4 ドライ溶剤中の汚れが、クリーニング中に洗濯物に付着するか吸着される状態を（ ア. 再吸着 イ. 再付着 ウ. 再汚染 ）という。
- 5 ドライクリーニングに用いる溶剤はカウリブタノール（KB）値が大きいほど（ ア. 水溶性汚れ イ. 油溶性汚れ ウ. たんぱく質汚れ ）の洗浄力が大きい。

問4 次のA群と最も関係のあるものをB群から1選び、（ ）の中にその記号を記入しなさい。

【A群】

- 1 化学やけど （ ）
- 2 酵素作用 （ ）
- 3 ろ過助剤 （ ）
- 4 糊付け （ ）

【B群】

- ア. たんぱく質汚れ
- イ. フィルターパウダー
- ウ. 石油系溶剤の残留
- エ. コーンスターチ

問5 次の文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 ポリエステルは、（ ア. 動物繊維 イ. 合成繊維 ウ. 半合成繊維 ）であり、ナイロンと同様に強い繊維の一つである。ポリエステルはナイロンと比べ、耐熱性が（ ア. 優れている イ. 劣っている ウ. 変わらない ）。
- 2 麻は、サラッとしてべとつかないため、夏用の衣料品に最適であるが、（ ア. シワになりやすい イ. 強度がない ウ. 吸水性がない ）素材である。
- 3 漂白剤である（ ア. 過酸化水素 イ. 次亜塩素酸ナトリウム ウ. 過ほう酸ナトリウム ）は綿、麻などの（ ア. セルロース イ. タンパク質 ウ. デンプン ）系繊維に適し、絹、毛、ナイロン及びポリウレタンには使用できない。

採 点



平成 29 年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理及び洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。  
試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成29年度クリーニング師実地試験問題  
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち、正しいものには○印、誤っているものには×印を、( )の中に記入しなさい。

- 1 ( ) テトラクロロエチレン(パーク)は、油脂溶解力が大きく、揮発しやすいドライクリーニング溶剤であり、可燃性である。
- 2 ( ) テトラクロロエチレンは、水質汚濁防止法の有害物質に指定されている。
- 3 ( ) 油汚れの著しいウールのズボンを洗う場合は、ドライクリーニングしてから水洗いする。
- 4 ( ) 顔料プリントは、テトラクロロエチレン(パーク)によるドライクリーニングが安全でよい。
- 5 ( ) ランドリーでは、メタ珪酸ナトリウムは洗剤として使用される。
- 6 ( ) ランドリーの最初の工程は、最適な洗浄条件で処理するため、色や材質により洗濯物をより分けることである。
- 7 ( ) ペンキによるシミを除去するために使用する薬品として、フッ化水素が有効である。
- 8 ( ) ドライクリーニングで使用する石油系溶剤は、油脂溶解力が小さく、比重が軽いので、ソフト洗いに適している。
- 9 ( ) ランドリーの仕上げのアイロン、プレス機かけには殺菌消毒の作用はない。
- 10 ( ) 過酸化水素は、絹繊維のシミ抜きに適していない。

問2 次の文中の（ ）に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

- 1 石油系溶剤が残留しやすい衣類としては、（ ）製品等があり、化学やけど（皮膚障害）を防ぐために、十分な（ ）が必要である。
- 2 洗濯物の処理に使用するクリーニング溶剤の取扱い上、特に考慮すべき危険性としては、火災・爆発を導く引火・発火性、中毒、職業病に結びつく有害・有毒性、（ ）につながる公害性がある。
- 3 ドライ溶剤中に溶け込んだ（ ）の多くは、フィルターのみでは除去することができない。そのため、汚れたドライ溶剤を加熱し、蒸発させ、そのガスを冷却液化し、溶剤を再生する必要がある。この処理を（ ）と言う。

**【語群】**

- ア. 懸濁    イ. ポリエステル    ウ. 乾燥    エ. 環境破壊  
 オ. 設備破壊    カ. 洗浄    キ. 油溶性汚れ    ク. 不溶性汚れ  
 ケ. 蒸留    コ. 合成皮革

問3 次のA群のシミに対する最も適当なシミ抜き剤をB群から選び線で結びなさい。

<A群>

<B群>

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 しょう油</li> <li>2 口紅</li> <li>3 黒インク</li> <li>4 鉄さび</li> <li>5 マニキュア</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油系ドライ洗剤、石油系溶剤、モノクロロベンゼンを主とした混合物</li> <li>・フッ化水素</li> <li>・シンナー、酢酸アミル</li> <li>・ぬるま湯・洗剤液または高級アルコール系洗剤</li> <li>・ロート油</li> </ul> |
|--|---|

採点

解答

平成 29 年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成29年度クリーニング師学科試験問題  
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、  
( ) に記入しなさい。 3点×8問=24点

- 1 ( × ) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しのみを行う場合であっても、クリーニング師を置かなければならない。
- 2 ( × ) クリーニング師とは、クリーニング師試験に合格した者のことである。
- 3 ( ○ ) クリーニング師は、免許を取得した都道府県以外でもクリーニング師としての業務に就くことができる。
- 4 ( × ) クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を生活衛生指導員という。
- 5 ( ○ ) 使用済みおしぼりを回収し、洗たく後さらに付与する営業、いわゆる貸おしぼり業もクリーニング業である。
- 6 ( ○ ) クリーニング業法で、「営業者」とはクリーニング業を営む者（洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡をするを営業とする者を含む。）をいう。
- 7 ( × ) クリーニング所営業者は、クリーニング師でなければならない。
- 8 ( ○ ) クリーニング業生活衛生同業組合は、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づき組織された団体である。

問2 次のクリーニング業法に関する記述について、文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。 4点×5問=20点

- 1 クリーニング業法は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を  
(  ア. 公共の福祉    イ. 公共の利益 ) に適合させるとともに、  
(  ア. 利用者    イ. 営業者 ) の利益の擁護を図ることを目的とする。
- 2 「クリーニング業」とは、( ア. 消毒剤     イ. 溶剤 ) 又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は(  ア. 皮革    イ. 化学 ) 製品を原型のまま洗たくすることを営業することをいう。
- 3 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、  
( ア. 必要に応じて     イ. あらかじめ )、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。

問3 次の文は、クリーニング師免許、研修についての記述である。

文中の（ ）の中に下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。 4点×5問=20点

- 1 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、(  ウ ) 以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、(  エ ) 以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング業法第12条の規程により免許の取消処分を受けた者は、  
(  イ ) 以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- 4 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、  
(  カ ) 以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図る為の研修を受けなければならない。  
また、その後は、(  キ ) を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。

【語群】

ア. 3日	イ. 5日	ウ. 10日	エ. 1月	オ. 3月
カ. 1年	キ. 3年	ク. 5年		

問4 クリーニング所において、苦情の申出先として店頭に掲示しなければならない事項としてクリーニング業法施規則に記載されているものには○印を、記載されていないものには×印を記入しなさい。

4点×5問=20点

- 1 ( ○ ) クリーニング所の名称
- 2 ( ○ ) クリーニング所の所在地及び電話番号
- 3 ( × ) 業務に従事しているクリーニング師の氏名
- 4 ( × ) 業務に従事しているクリーニング師の登録番号
- 5 ( × ) 最寄りの保健所の名称及び電話番号

問5 次の文は、クリーニング業法中の営業者の衛生措置等に関する記述である。文中の( )に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

4点×4問=16点

- 1 営業者は( キ )以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならない。
- 2 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び( ウ )をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。
- 3 伝染性の疾病の病原体による汚染の恐れのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は他の洗濯物と( エ )しておき、これを洗濯するときは、その前に( イ )すること。

【語群】

ア. 乾燥機      イ. 消毒      ウ. 脱水機      エ. 区分      オ. シミ抜き  
カ. 事務所      キ. クリーニング所

採 点

平成29年度クリーニング師学科試験問題  
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、公衆衛生に関する記述である。文中の( )の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。(4点×5問=20点)

ウインスローの定義によれば、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、(オ)の予防、個人衛生の原則についての個人教育、疾病の(コ)と治療のための医療と看護サービスの(イ)、および地域社会の全ての人に、健康保持のための適切な(カ)を保証する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、(キ)を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」

【語群】

ア. 基本的	イ. 組織化	ウ. 個別化	エ. 災害	オ. 伝染病
カ. 生活水準	キ. 寿命	ク. 罹患	ケ. 家族	コ. 早期診断

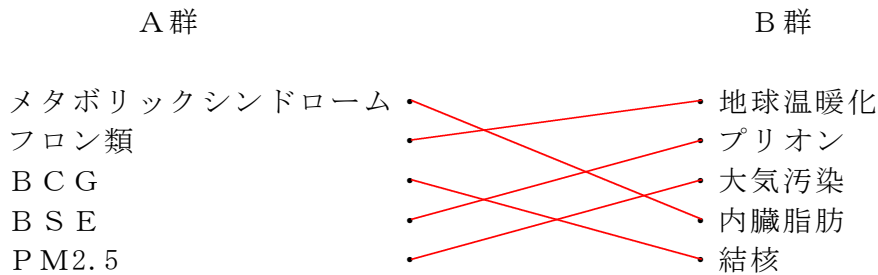
問2 次の文章のうち正しいものには○印、誤っているものには×印を( )の中に記入しなさい。

(4点×5問=20点)

- 1 ( × ) 過去にテトラクロロエチレンを使用していたクリーニング工場は、土壌汚染対策法における調査の対象とならない。
- 2 ( ○ ) 洗濯物の処理、受け取り、引き渡しを行う者が伝染病の疾病にかかった場合、業務を停止させられることがある。
- 3 ( × ) クリーニング所は、洗たく業の用に供する洗浄施設として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特定施設となり、届出、排水基準の遵守などの義務がある。
- 4 ( ○ ) 浄化槽法でいう浄化槽は、し尿及び雑排水(工場排水、雨水その他の特殊な排水を除く)を処理する設備である。
- 5 ( × ) 水道法施行規則では「給水栓における水が、残留塩素で10mg/L以上保持するように塩素消毒をすること。」と定められている。



問3 次のA群の事項に最も関係のあるものをB群から選び線で結びなさい。  
(4点×5問=20点)



問4 次の文は、「クリーニング所における衛生管理要領」について述べたものである。文中の( )の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

(5点×4問=20点)

- 1 ランドリー処理の本洗には、(ア. 40℃以上 イ. 50℃以上 **ウ. 60℃以上**)の温水を使用することが望ましい。
- 2 施設内は、採光・照明を十分にすること。特に、受渡し場、しみ抜き場及び仕上場の作業面照度は、(ア. 100Lux以上 イ. 200Lux以上 **ウ. 300Lux以上**)であることが望ましい。
- 3 蒸気による消毒とは蒸気がま等を使用し、100度以上の湿熱に(ア. 3分以上 イ. 5分以上 **ウ. 10分以上**)触れさせることをいう。
- 4 界面活性剤による消毒とは、逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で(**ア. 30分以上** イ. 60分以上 ウ. 90分以上)浸すことをいう。

問5 次の文中の( )の中に、下記の語群から適正なものを選び、その記号を記入しなさい。

(5点×4問=20点)

クリーニング業は、人体の( **キ** )、ほこり等により汚染された衣料等を処理する営業であり、( **ク** )に汚染されたおそれのある衣料等を洗濯することによる( **イ** )の危害の発生を防止するため、その取扱い及び処理を( **エ** )かつ適正に行うことは、営業者の責務である。

【語 群】



ア. 精神衛生上      イ. 公衆衛生上      ウ. 飲食物      エ. 衛生的  
オ. 健康管理      カ. 効率的      キ. 分泌物      ク. 病原微生物

採	点

平成29年度クリーニング師学科試験問題  
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を ( ) の中に記入しなさい。  
3点×8問=24点

- 1 ( ○ ) 洗たく物の点検は品物を預かった時に顧客の前で行い、修理や補修・特別なシミ抜きを行う必要がある場合は、その料金を顧客に示し、了解を得ることが必要である。
- 2 ( ○ ) プリーツ加工とは、布に折り目やヒダをつける加工である。
- 3 ( × ) 捺染(なせん)とは、染料を溶かした水の中に、染める物を浸して全体に着色する染め方である。
- 4 ( ○ ) 裏地には、通常3つの機能があり、着心地の改善、形態の安定(保型性)、外観の改善があげられる。
- 5 ( × ) カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分が多い方が、洗濯用水として望ましい。
- 6 ( × ) 毛皮のクリーニングにはランドリークリーニングが適している。
- 7 ( × )  左記の洗濯表示は「塩素系漂白剤の使用はできるが、酸素系漂白剤の使用禁止」を意味する。
- 8 ( ○ )  左記の洗濯表示は「石油系溶剤によるドライクリーニングができる」を意味する。

問2 次の各繊維素材の標準的仕上げ温度について、右表の選択肢の中から正しいもの一つを選びその記号を記入しなさい。  
4点×5問=20点

※問2の2については、正答がなく、問題として不適切であるため、全受験生正解とする。

		[選択肢]
1	ポリウレタン ( ア )	ア. 60~70℃
2	綿 ( 正答なし )	イ. 120℃以下
3	絹 ( エ )	ウ. 120~130℃
4	ポリエステル ( ウ )	エ. 130~140℃
5	毛 ( オ )	オ. 150~160℃

問3 次の文はドライクリーニングについての記述である。文中の（ ）に入る正しい語句を1つ選び、その記号を○で囲みなさい。 4点×5問=20点

- 1 ドライ溶剤に適量の（ア. ドライソープ イ. 漂白剤 ウ. 酵素剤）を添加して洗う方法をチャージシステムという。
- 2 ドライクリーニングは、ランドリーと比較して衣類の形くずれ・収縮・脱色が（ア. 大きい イ. 小さい ウ. 変わらない）。
- 3 洗浄により汚れた溶剤を、清浄なドライ溶剤に再生する方法の一つにろ過がある。ろ過は溶剤中の（ア. 不溶性汚れ イ. 水溶性汚れ ウ. イオン）を除去する。
- 4 ドライ溶剤中の汚れが、クリーニング中に洗濯物に付着するか吸着される状態を（ア. 再吸着 イ. 再付着 ウ. 再汚染）という。
- 5 ドライクリーニングに用いる溶剤はカウリブタノール（KB）値が大きいほど（ア. 水溶性汚れ イ. 油溶性汚れ ウ. たんぱく質汚れ）の洗浄力が大きい。

問4 次のA群と最も関係のあるものをB群から1選び、（ ）の中にその記号を記入しなさい。 4点×4問=16点

【A群】

- 1 化学やけど （ウ）
- 2 酵素作用 （ア）
- 3 ろ過助剤 （イ）
- 4 糊付け （エ）

【B群】

- ア. たんぱく質汚れ
- イ. フィルターパウダー
- ウ. 石油系溶剤の残留
- エ. コーンスターチ

問5 次の文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

4点×5問=20点

- 1 ポリエステルは、（ア. 動物繊維 イ. 合成繊維 ウ. 半合成繊維）であり、ナイロンと同様に強い繊維の一つである。ポリエステルはナイロンと比べ、耐熱性が（ア. 優れている イ. 劣っている ウ. 変わらない）。
- 2 麻は、サラッとしてべとつかないため、夏用の衣料品に最適であるが、（ア. シワになりやすい イ. 強度がない ウ. 吸水性がない）素材である。
- 3 漂白剤である（ア. 過酸化水素 イ. 次亜塩素酸ナトリウム ウ. 過ほう酸ナトリウム）は綿、麻などの（ア. セルロース イ. タンパク質 ウ. デンプン）系繊維に適し、絹、毛、ナイロン及びポリウレタンには使用できない。

採 点

解答

平成 29 年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理及び洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。  
試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成29年度クリーニング師実地試験問題  
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち、正しいものには○印、誤っているものには×印を、( )の中に記入しなさい。  
1点×10問=10点

- 1 ( × ) テトラクロロエチレン(パーク)は、油脂溶解力が大きく、揮発しやすいドライクリーニング溶剤であり、可燃性である。
- 2 ( ○ ) テトラクロロエチレンは、水質汚濁防止法の有害物質に指定されている。
- 3 ( ○ ) 油汚れの著しいウールのズボンを洗う場合は、ドライクリーニングしてから水洗いする。
- 4 ( × ) 顔料プリントは、テトラクロロエチレン(パーク)によるドライクリーニングが安全でよい。
- 5 ( × ) ランドリーでは、メタ珪酸ナトリウムは洗剤として使用される。
- 6 ( ○ ) ランドリーの最初の工程は、最適な洗浄条件で処理するため、色や材質により洗濯物をより分けることである。
- 7 ( × ) ペンキによるシミを除去するために使用する薬品として、フッ化水素が有効である。
- 8 ( ○ ) ドライクリーニングで使用する石油系溶剤は、油脂溶解力が小さく、比重が軽いので、ソフト洗いに適している。
- 9 ( × ) ランドリーの仕上げのアイロン、プレス機かけには殺菌消毒の作用はない。
- 10 ( × ) 過酸化水素は、絹繊維のシミ抜きに適していない。

問2 次の文中の（ ）に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。  
2点×5問=10点

- 1 石油系溶剤が残留しやすい衣類としては、（ コ ）製品等があり、化学やけど（皮膚障害）を防ぐために、十分な（ ウ ）が必要である。
- 2 洗濯物の処理に使用するクリーニング溶剤の取扱い上、特に考慮すべき危険性としては、火災・爆発を導く引火・発火性、中毒、職業病に結びつく有害・有毒性、（ エ ）につながる公害性がある。
- 3 ドライ溶剤中に溶け込んだ（ キ ）の多くは、フィルターのみでは除去することができない。そのため、汚れたドライ溶剤を加熱し、蒸発させ、そのガスを冷却液化し、溶剤を再生する必要がある。この処理を（ ケ ）と言う。

【語群】

- ア. 懸濁    イ. ポリエステル    ウ. 乾燥    エ. 環境破壊  
 オ. 設備破壊    カ. 洗浄    キ. 油溶性汚れ    ク. 不溶性汚れ  
 ケ. 蒸留    コ. 合成皮革

問3 次のA群のシミに対する最も適当なシミ抜き剤をB群から選び線で結びなさい。

2点×5問=10点

<A群>

<B群>

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 しょう油</li> <li>2 口紅</li> <li>3 黒インク</li> <li>4 鉄さび</li> <li>5 マニキュア</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 石油系ドライ洗剤、石油系溶剤、モノクロロベンゼンを主とした混合物</li> <li>• フッ化水素</li> <li>• シンナー、酢酸アミル</li> <li>• ぬるま湯・洗剤液または高級アルコール系洗剤</li> <li>• ロート油</li> </ul> |
|--|---|--|

採 点